

**日程第26 議案第15号 平成18年度橋本市水道事業会計予算について 及び、日程第27 議案第16号 平成18年度橋本市病院事業会計予算についての2件**

議長（上田順康君）日程第26 議案第15号 平成18年度橋本市水道事業会計予算について 及び、日程第27 議案第16号 平成18年度橋本市病院事業会計予算について の2件を一括議題といたします。

これより質疑を行います。

まず議案第15号 平成18年度橋本市水道事業会計予算について質疑を行います。全般について行います。

質疑ありませんか。

23番 富岡君。

23番（富岡清彦君）553ページの資本的支出の中の大滝ダムの負担金1億2,541万8,000円に関連をしての質問をいたします。

この大滝ダム負担金は既に完全にいったん工事が終わったわけですけれども、いわゆる試験湛水の途中、白屋地区での地すべりということで、橋本市の大滝ダム負担金ということで、現在、7億8,000万円の支払い中であります。

そこで、本題に入りますけれども、私ども、6月2日に県議団、それから和歌山市議団と一緒に大滝ダム、阪本さんと10名ほどでしたか、行ってまいりました。現在、270億をかけて白屋地区の地すべりの対策工事を行ってあったわけですけれども、大変なことを発見いたしました。少し経過を言いますけれども、平成15年3月17日に試験湛水を開始して、4月25日に白屋地区から亀裂発生第一報、ダムの水位は284メートルだったそうです。5

月11日に貯水池水位上昇の一時ストップを決定したと。この時点で水位304.8m。8月1日、亀裂現象対策委員会が亀裂現象はダム湛水が原因の地すべり現象によるものというふうに確定をいたしまして、貯水池の水を抜いていたわけです。それも1日に50cmずつ抜いていたそうであります。現在はゲートをあけたままの状態ということになっております。白屋地区の地すべり対策工事を平成20年5月31日までの工期で現在行われていると。

問題なのは、白屋地区の地すべりがあったということから、わかりやすく言えば、じゃ、他の地域は大丈夫なのかということで、大滝ダム貯水池斜面再評価検討委員会というものを専門家の皆さんが入って立ち上げました。そこで、再評価の結果、大滝地区の貯水に対応した、いわゆる前面すべり及び迫地区の下部すべりというものがわかりまして、これはダムの貯水による影響ではないかということから、対策が必要であるということになりまして、1年間をかけまして、今現在詳しい調査をやっているということです。

私、申し上げたいのは、さらなる地すべり対策ということが必要になってくるのではないかというふうに現地に行って、その可能性が極めて高いのではないかというふうに肌で感じてまいりました。

そこで、既に大滝ダム負担金、約100億円ですか、橋本市の水道会計から支払われているわけです。全国1位と言われるのは工事費が14倍から15倍に膨れ上がった、現在3,400億円になるうとしておるんですが、さらにこの2地区の地すべり対策費というものが橋本市の水道会計にのしかかる可能性があるわけ

です。とにかく、ダムの工事に係る2.9%を橋本市が負担しないといけないと、こういうことなんです。

そこで、強く求めたいことは、国に対してもう1円も払えません、国の責任でやってくださいということをしかりとした形で意思表示をする必要があると思うんです。これは、県も同じ気持ちだと思います。和歌山市も同じ気持ちだと思いますので、よく連携をとっていただいて。というのは、大滝ダムはもう完成しましたということで試験湛水で地すべりが起こって地すべり対策として負担してください、橋本市は7億8,000万円、これは仕方ないと。が、またでしょう。これはあくまで可能性の話をしているんですが、また大きな、僕の試算では15億円ほど、さらに事業費負担というものをかぶらんらん可能性があるんですよ。既に今でも1億円前後の赤字になっていると思うんですが、これは、私も口癖に言ってきた県下でも非常に高い水道料金を、さらに引き上げざるを得ないような状況は起こりますので、ぜひ今の時期によく連携をしていただいて、国にしかと、まあ言うたら念書でもってほしい気持ちなんです、市長、いかがでしょうか。

〔市長（木下善之君）登壇〕

議長（上田順康君）市長。

市長（木下善之君）富岡議員の質問にお答えを申し上げたいと思います。

本当に私も現場を見させていただきました。38戸の白屋地区の移転、あそこから数km奥に学校の運動場へずっと並べて、本当に気の毒な状態とあわせて、非常に我々としても残念であるというほかないわけであります。

私も県会でおる当時のことでもございましたから、矢面に、これはもう絶対反対やと。県並びに和歌山市、橋本市、暫定取水権の取得権利者、これらについては絶対反対と強く申

し上げておったんでございますけれども、なかなか当初の協定というんですか、そこらの問題もあるようで、甘んじて受けざるを得ないということで私も涙をのんでという記憶があるんです、おととしてでしたか。

そういうことで、国土交通省の近畿地方整備局の局長が過日参られまして、ただ今お説の、あと3カ所、そういう疑いがあるということでもございました。そうになってまいりますと、これはもう大変遺憾でありますし、日本の多雨地帯の治水という面から一日も早く完成いただかなければならないわけではありますが、そういう追加のことでの、万が一、調査結果に基づいて出た配分については、またお知らせしますが、協力をお願いしたいということのお話でもございました。

しかし、それは我々も、今、一つ返事ではまいりません、県とも十分話し合いをした上でということでも別れたわけではありますが、本件につきましては既に県とも協議をし。そういうことがいつまでも続きますと、これは後々また完成から以降は管理費負担というものが出てくるわけです。そうやってきますと、そこへおっぱせないかんという問題も出てくるし、そこへ南海・東南海の地震の問題も、これは油断大敵でありますので、これががたがたと揺られますとどこがどないなるかわかりません。私も大分議論した中で、結局はあの堰堤の位置が五百六十数軒も立ち退いたというところに問題があったなと素人なりに思うと。私も今まで、そちら側に座っておるときも、せんどこれをやってきました、市会の当時。ほんで、なんべんも行きました。洪水にも見舞われて、そのときには大分議論しました。しかし、なかなか現実としては非常に厳しい状態であるということだけ申し上げ、そして、今後については最大の遺憾のないように県とも、知事とも話し合いをしながら善

処してまいりたいと思いますので、ひとつ皆さんのお力もぜひ借りたい、そう思っております。

議長（上田順康君）ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（上田順康君）ないようですので、次に、議案第16号 平成18年度橋本市病院事業会計予算について質疑を行います。全般について行います。

質疑ありませんか。

12番 平林君。

12番（平林崇行君）598ページ、3番の賃金です。

先ほどの一般会計でも言いましたけど、パート・臨時・嘱託職員の一時金の問題なんですけども、私、病院のほうにも聞きたいのは、やっぱり病院というのは企業会計で、本当に毎日毎日が収入であって、いろんな形で動いていると。だから、金があってどうのこうのじゃなしに、ほんまに入ってくるお金でやらんならん。そのときにこういうふうな、ほんまに臨時・嘱託職員、パートの問題でやったときに、私先ほど言うたように現場というものが動けへんかったら病院は困ると思います。今、本当に病院とかいろいろ、事務局長、管理者、病院長の努力によって、市民の皆さんの評価はいいですよ。入院しておる人なんか、看護師とか職員はみんなよう頑張ってくれると。あんなにしんどい思いをして一生懸命やってくれる、もっと数を増やしてやれへんのかよということもよう聞きます。それはそれで、大変な時期ですから、それに募集してもなかなか人も集まりませんし、その辺のところはよく説明して、できるだけ協力してくださいということで、皆さん本当に、患者さんというか、身内の方もやっていただいています。やっぱりその中に笑顔というのも大事ですから、私もちょこちょこ行かせてもろうて、

みんな笑顔ある橋本市民病院になりつつあると思います。

しかし、こんなことで、私、ほんまに何やと。先ほど言うたように、上が勝手に決めて弱い者ばかりにしわ寄せ行くのかよという部分があったらやっぱり嫌やと思います。先ほど同僚の33番議員も、子ガメこけたら親ガメこける、それぐらい病院は大切なものやないかということをおっしゃいました。私、そのとおりやと思います。やっぱり現場、人。人は石垣、人は城。やっぱり石垣はしっかりせえ。そして、その上にすばらしい城が建つ。それが崩れていっちゃうと、ほんまにがらがらいっちゃうんです。その辺を考えながら、私は先ほどの一般のほうは考えていくみたいなことを言うていましたけども、やっぱりはっきりと、ほんまに考えていってやっていただきたいんですけども、この辺についてはどうお考えですか。

議長（上田順康君）病院管理者。

病院事業管理者（石井敏明君）市民病院職員の割り増し賃金の問題であろうというふうに思います。

実のところ、嘱託・パート職員の労働組合というのが橋本市にもございますし、病院にも労働組合があるわけです。それで、過日からちょうど私も議会中でございますし、労働組合の代表とは会っていないんですが、局長以下、2度、3度、団体交渉を持っておりまして、ほとんどこの賃金の問題でございます。現在のところ、聞き入れられなければストライキをする。それから、労働基準監督署へ提訴をしたいということと、とりあえずは全員の署名を添えて管理者、議会、市長に陳情活動を大至急実施するという通知が参っておりますのでございまして、議員おただしのよう日々が患者相手の免許を有する職員の現場でございまして、形式的にということで高野

口町、それから橋本市が合併をして動いたという事実上の経過があるわけですが、病院職員については、働いている職員はそういう意識はほとんど、形式はそのような形式をちゃんととっておるんですが、形式はいったん身分を切っておりますけれども、働いている職員はそういう自己意識はほとんど持っていないというのが現状でございます、正職員に満額6月の賞与が払われるのに、これまで払われてきておった割り増し賃金が嘱託・パート職員にないというのはおかしいということで、非常に強い苦情を言っておられまして、私といたしましては、今、病院は多少苦労しておる中で、先生方も、減るところが実際は6名ないし7名増加いたしましたし、看護師も、これまで2.5対1であったのを2対1に切りかえて増員をして、それから病床250床を300床にするんだということで、近日、また30名ほど看護師を募集したいという積極経営を打ち出しておるところであるわけです。

そういう中で、日々が戦場の中で、職員のモチベーションが下がってこういういざこざが起こるとということは非常に懸念をいたしております。何とか対応をとりたいということでございますが、同じ橋本市職員の中で、市の中で働く、保育現場とか、市のパート職員の方、また、公共企業体職員といえども、橋本市職員の公務員でございますから、その辺の整合をとれた形でないと、病院だけ企業会計だからどうこうするというわけにはまいらないということで、先ほど企画部長の答弁がありましたように、市と意見調整をして対応したいという形で、現在調整中であります。日にちもありませんし、どういう形でか、早く組合のほうに回答を出さなければと思いつつ、座らせていただいております、こういう状況でございます。

以上です。

議長（上田順康君）12番 平林君。

12番（平林崇行君）非常に混迷しております中でということなんですけども、これは相手がいいますので、どういう解決策がいいのかというのは、私は基本的にはわかりません。要は、何でも話し合いはそうなんですけども、これがいいんじゃないかに納得していただけるか、そういうものをきちっと返せるか、これが私は一番の解決方法やと思います。

ですから、ほんまに言うたように、今、1日入院したら、入院患者さん、国から三万何ぼの補助があるのかな。だから、本当に看護師がおれへんというか、それを抑えてしたり、万が一で、ないとは思いますが、そういうことになれば、やっぱり1日の患者さんが診れない、患者さんに出ていってくれと。そしたら、経理も、既に1ベッドで3万円を損するというか、失われていくという部分もあります。非常に大きな負担になりますので、やっぱりひざを突き合わせて、もう少し、それはこっちの企画部長らとも話はせんならんとは思いますが、相手がいいますので、じっくりと話を聞いて、相手のことと、こっちの立場も話しながら早急に聞いていただきたいんですけども、この辺はいかがでしょう。

議長（上田順康君）病院事業管理者。

病院事業管理者（石井敏明君）早急に話し合いの上で、事務手続きが6月末、30日が支払い日であるわけです。それまでに解決すべく取り組みたいというふうに思っております。

議長（上田順康君）33番 森安君。

33番（森安欣吾君）1点だけ、594ページ。

人間ドックのことでちょっとお聞きしておきたいと思うんです。これは昨日もこの質問、直接関係なかったんですが、ほかのところの積算は、入院収益については1人あたりの収

入が入っております、外来収益も。人間ドックの患者1人あたりの収入をどのぐらいの単価で積算されておられるのかと。宿泊施設がないので1泊のあれはコースがないのか、日帰りのみなのかと。そしたら、こう言うのは悪いんですが、やっていただく民間の人がおれば、市民病院の人間ドックの患者さんのみを泊めるホテルを経営して成り立つのか、成り立たんのか。何も橋本市だけの市民病院ではないので、地域医療圏の中核ですし、この近隣ですから、もとに戻って市民病院のあり方を考えますと広い範囲内から患者さんに来ていただいて結構なことなんで、特に人間ドックなんかになりますと、広い範囲内で、私も赤十字とかその辺に行きませんと、市民病院といいましても、すぐはない、日程がとれないということで、行きたくてもとれないというのが現状ですね。

ですから、もう一度整理しますと、これは日帰りなんです、1人頭の収益はいかほどなのかと。そして、本市の利用者、これはどのぐらい本市の市民を診られているのか。何人ぐらい本市から来られているのかと。それから、本市に本来人間ドックを利用されている方が、いろいろでしょうけど、保険の内容で全部が精査できんでしょうけども、国民健康保険でどのぐらいの請求が上がっているのかというのを研究されたことがあるのかないのか。本来、本市の中から人間ドックを利用されている方が何人ぐらいあるのかということの研究されていると多分思いますので、その点、あと、ほかの保険ではなかなかわかりづらいでしょうけど、おおよそ、本市からほかの病院へどれぐらい流れているのかということになるうかと思いますが、この点ちょっと教えていただいて、果たして毎日10人泊まっていただけ、人間ドックの希望者があれば10人用のビジネスホテルをつくれればいいわ

けですから、何も橋本市がつくらんでもだれかにつくっていただいたらいいので、そういうこともありますので、これは企業誘致よりもそのほうが的確でございますので、これが最大の企業誘致でございますので、その点いかがなものかなということでお聞きいたします。

議長（上田順康君）病院事務局長。

病院事務局長（尾崎慶和君）人間ドックの詳細の資料をちょっと持ち合わせておりませんのですべてお答えできるかどうかわかりませんが、現在の480万円、医療相談収益の中の一部の人間ドックがあるわけなんですけれども、1日ドックが主でございます。

ところが、この予算編成時、終了時はこういうことであつたんですけれども、実は4月1日から、全国自治体病院のほうへ医師の募集をかけておりましたところ検診専門の内科のドクターが本院へ赴任したいということで、今、常勤医で検診センターのほう、それから、一部内科診療も診ていただいている専門のドクターができました。今後は、1泊2日も含めまして検討に入っているところでございます。検診センターそのものがきちっと運用していくために、先般来から管理者を筆頭にしまして、病院長も含めまして、検診センター長、それから赴任されました医長以下、スタッフによりまして今後もっと積極的に人間ドック及び検診事業を展開していこうじゃないかということで決定されました。

その中で非常に問題になりましたのが、森安議員がおっしゃいました、1泊2日の場合は宿泊施設の問題でございまして、紀見荘等のパンフレットを寄せていろいろ検討はしておるんですけれども、実はなかなかそこを望まないと。市町村共済組合の我々公務員にしましても、白浜のほうで人間ドックを受けられると。それはなぜかと言いますと、白浜で

受けますと宿泊施設が一流ホテルに泊まって、そして、前後、ドックを受けるというふうなことになるように聞いております。本院もその辺は非常に苦慮しておりますけれども、何とか1泊2日を積極的に受けながら、今年の検診センター全体の収益を、昨年はだいたい2,500万円ほどしか上がっておらないものを7,000万円近くに上げていきたいということで、今、想定しております。専門医ができましたので、それだけ積極的に各検診を企業並びに各種団体に、営業活動じゃないんですけれども、そういうことで呼びかけて積極的に展開していきたいと思っております。

1日ドックがいくらか、それから1泊2日がいくらかという資料があるんですけども、ちょっときょう持ち合わせておりませんので、また後刻、予算委員会のほうでもご説明させていただきたいと思っております。

以上でございます。

議長（上田順康君）ほかにありませんか。

31番 金山君。

31番(金山高弘君)平林議員の質問に対し、失礼ですけど、老骨にむち打って管理者は非常に頑張っていたいてありがたく思っています。

がしかし、587ページ、収入47億円、597ページ、支出ざっと54億円。勘定しやすいように、100円収入を得るのに115円かかる。これを認めると。支離滅裂というか、大胆不敵というか、こういう予算を計上されて議会に出されるという、僕はそない思います。

そこで、予算委員会に預けられて、多分採択されるだろうと思えます。採択されたら、有終の美を飾って、出处進退を考えられたらいかがかと思えます。

議長（上田順康君）病院事務局長。

病院事務局長（尾崎慶和君）おただしの件につきましては、多分100円もうけるのに115

円の費用がかかっているじゃないかと。このままの経営状態で見通しがはっきりしないんじゃないかというおただしだと思いますので、それに対してお答えさせていただきたいと思えます。

まずは、予算上はそういう前年度比をもちまして4月から新設された心臓血管外科、循環器科等々に基づきまして収益増も見込んでおります。実質、本年の4月、もう既に今6月ですけれども、実はその予算より上回るような状況にもなっております。前年度と比較しまして、入院収益で5,079万円ほど伸びておりまして、外来収益で約1,000万円ほど伸びております。1カ月で約6,000万円ほどの増収になっておりまして、それで10カ月まいりますと6億円というようなことになってこようかと思えます。その中心たるものは、収入の面につきましては患者数を増やすこと、それから診療単価を引き上げていくこと等々でございます。支出面につきましては、各種委託料から始まってすべてを見直すというようなことでマイナスシーリングで臨んでおりまして、ほとんどが、特に委託料関係がマイナスで契約を終えることができました。何とか金山議員ご指摘の115円が110円になり、107円になるように、管理者ともどもしっかり頑張っていきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

議長（上田順康君）ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（上田順康君）ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただ今議題となっております議案第15号と議案第16号の2件については、平成18年度予算審査特別委員会に付託いたしたいと思えます。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長(上田順康君)ご異議なしと認めます。

よって議案第15号と議案第16号の2件については、平成18年度予算審査特別委員会に付託し、審査することに決しました。

この際、暫時休憩いたします。

(午後3時47分 休憩)

---

(午後4時10分 再開)

議長(上田順康君)休憩前に引き続き会議を開きます。

この際、報告いたします。

先ほど設置されました平成18年度予算審査特別委員会委員長に福井康雄君、副委員長に井上勝彦君がそれぞれ選出されました。

以上で報告を終わります。

日程に従い、議案審議を行います。